

令和7年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
33	川崎市立夢見ヶ崎小学校	小川 幸

学校教育目標	今年度の重点目標
心身ともに健やかで 思いやりのある児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びに向けての授業改善 児童が主体となる活動・代表委員会・委員会活動の工夫 楽しくやりたくなる体育授業の充実と防災意識の高揚 教育活動の積極的な配信と、家庭・地域との連携・協同を大切にされた学校づくりの推進

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 「確かな学び」 主体的・対話的で深い 学びに向けての授業 改善	かかわり合いながら、学び合い、高め合う学習 活動・授業づくりの推進	・自分の考えをもち、友達と話し合う活動を通して、 学びの広がりや深まりが見られた。国語の校内研 究を通して、書く力の育成に努め、相手意識、目 的意識をもって、わかりやすく書く力が高まった。	・今後も、個別最適で協働的な学びを実践し、子ど もたちの考えが深められる授業をめざしていく。校 内研究を主として、教員が互いの授業を見合い、 さらなる授業力の向上を図っていく。
	GIGA端末を活用した学習の推進	・一人一台のGIGA端末を活用して、調べ学習や 見合う活動、スライド等を使った発表等、効果的に 情報活用能力を育むことができた。	・学習のねらいを達成するためのGIGA端末の活 用を意識し、子どもの実態を捉えながら、教材研究 や研修会の参加等に努める。
3 「豊かな心」 児童が主体となる活 動・代表委員会・委員 会活動の工夫	代表委員会(児童会)による児童が主体となる 活動の充実	・よりよい夢見ヶ崎小学校をつつていきたいとい う子どもの思いをいかして、子どもたちが自主的に啓 発活動や当番活動を行うことができた。	・子どもが主役の学校になるよう、子どもたちの思 いを大切に、活動が実現可能になるような支援を 心がけていく。
	にじいろ班(縦割り班)活動の充実	・6年生が主体となり縦割り班活動を行なうことが できた。異学年の児童同士がふれあうことで、リー ダーシップや思いやりが生まれ、協力して活動す る喜びや充実感を味わうことができた。	・人とかかわることを大切に考え、今後も子どもた ちの意欲や取組を尊重し、充実感や満足感を感じら れるような活動になるよう支援に努める。
5 「健やかな体・子どもの 安全」 楽しくやりたくなる体育 授業の充実と防災意 識の高揚	系統立てた体育学習の実践と体育学習の日 常化	・系統立てた体育学習を意識し、児童の実態に即 した授業の実践を図った。子どもたちの体力向上 をめざし、休み時間に楽しみながら運動する機会 を設けた。	・体育学習の中での効果的な教師の声かけや、補 助について、今後も学び合う機会や研修を設け て、運動が好きな児童の育成に取り組んでいく。
	自分の身を自分で守る意識の向上	・避難訓練を通して、自分の身は自分で守る意識 が育った。放送をよく聞き、周囲の状況を察知し、 真剣に避難する姿が見られた。	・今後も継続して、地震、火災、不審者等、様々な ケースを想定して計画的に訓練を行い、子どもた ちの防災意識を高めていく。
7 「開かれた学校づくり」 教育活動の積極的な 配信と、家庭・地域と の連携・協同を大切に した学校づくりの推進	学校だより等での積極的な情報発信	・学校だより等を通して、学校の様子を保護者や地 域の方々へ情報発信した。学校HPを容易に閲覧 できるようQRコードを掲載した。	・学校全体の教育活動を知っていただくため、学 校だよりの裏面に全学年からのお知らせを掲載 し、データでの発信を行う。
	地域に対する愛着の向上	・栽培活動や歴史学習、読み聞かせ等の読書活 動など、地域の特色や地域の方の協力で、特色あ る授業づくりを行った。地域を知り愛着をもつよ い機会となっていた。	・地域学習に有効な副読本の活用を、計画的に授 業に組み入れていく。また、地域素材を生かした 探究的な学習の取組を充実させていきたい。

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの表情からも、学校生活に積極的にかかわり、よりよい学校にしてい こうという気持ちが伝わってくる。 「確かな学び」「豊かな心」「健やかな体・子どもの安全」「開かれた学校づくり」の 活動を通して、先生方の熱心な教育への取り組みが感じられる。 「あいさつ」と「にじいろ班活動」は、これからも、夢見ヶ崎小学校の大切な活動と して、継続していただきたい。 	<p>子どもが主役となる学校づくりをめざし、実践を重ねてきた。人とかかわりを大切にし、互いの考えを 交流することで思考が広がり、深まる学びの場の充実に努めてきた。子どもたちは、進んで考えを伝え るとともに、友達の意見を自分の考えと比べながら受け止める姿が見られるようになり、協働的な学びが 着実に育まれてきている。また、学年内の交換授業なども取り入れ、子ども一人一人のよさを引き出す ことを大切にしながら、児童理解の充実に努めてきた。</p> <p>今後も、かかわりを大切にした学び合い、高め合う授業づくりを推進するとともに、保護者や地域の 方々と連携し、地域の教育力を生かした学校づくりに努めていきたい。</p>